

九州観光ビジネスプランコンテスト 2023

事業計画書

提出日 2023年 10月 31日

学 校 名	九州産業大学		
学部・学科名	地域共創学部 観光学科		
チ ャーム名 (個人参加の場合は任意)	九州の自然がばり好きっ隊	エントリーNo.	11
チームの紹介(任意項目) 自然が大好きな友達同士で組んだチームです。 熊本や大分に何度も行き、アクティビティや温泉を楽しんでいることからこのチーム名にしました。			
1. 取り組みテーマについて(なぜこのテーマに取り組んだのか) ・現状および課題認識 現在、日本の石工の数は減少傾向にある。しかし、伝統的な職人として高く評価されており、彼らの技術と技能は建築、庭園、仏教寺院などの多くのプロジェクトで重要な役割を果たしている。また、日本国内外での需要もあり、国際的なプロジェクトに参加する石工も存在する。ただし、日本の石工の数は減少傾向にあるため、この伝統的な職業の維持が課題となっている。一方、新型コロナウイルスの流行の影響を受け、野外でのアクティビティが求められ、アウトドアブームが加速している。しかし、アウトドアブームには自然環境への配慮や、持続可能なアクティビティの問題も関わっており、自然を守りながら楽しむ取り組みが求められている。			
2. 課題解決に向けた新たなアイデアについて 私たちは九州発の「ストーン・ツーリズム」を提案します！ ストーン・ツーリズムとは、九州の石像・石工など石の文化をテーマとしたスタンプラリーやツアー、イベント、アクセサリ、ロッククライミング、石焼グルメ(九州産の石焼きステーキ・九州産の芋による石焼き芋)を展開する。 我々が考えたのは、九州の渓谷等にある石壁での石像作りだ。このビジネスプランは、九州にある美しい渓谷(高千穂峡 等)で体験型の石像作りを開催することで、自然の魅力を広め、深めることも可能であると考える。また、石彫の専門家やアーティストを雇用し、渓谷の石壁に作品を作ってもらうことにより、新たな観光客を呼び込むことも期待できる。			
3. 九州や地域社会への影響について ・新たなアイデアが九州や地域に及ぼす効果(誘客、活性化等)はどうか。 渓谷を利用することによって、地域の観光業者との連携が必須となっており、地域の活性化に繋がる。また、石工職人やアート団体との連携もあるため、石工の技術と知識を次世代に伝えることができる。参加者が地域の情報や体験の感想を SNS に挙げることによって、その地域の魅力発信や知名度の向上を図ることが出来る。また、石工職人のアートの認知も向上することが可能である。			
4. 事業化に向けたビジネスモデルについての具体的な紹介 ・商品・サービス・ノウハウなどを分かりやすくご説明ください。 ・「事業収入(提供金額)」「費用(事業コスト)」「告知手法」等を可能な限り記述してください。 プラン内容としては、彫刻体験料として訪問者に石像制作体験を提供し、参加費を収入源とする。参加者一人あたりの料金は体験時間の長さや内容によって変化するが、1人あたり小さい彫刻を3000円から、大きい彫刻を15000円までと設定する。また、日本の石工職人による作品のオンライン販売も行う。石像			

の価格は石材の種類、サイズ、デザインによって異なるため、詳しい収入は記載しない。そして、アート愛好者や学生向けのアートショップを地域で開催することによって、収入を得ることが出来る。

事業コストについては、石像制作に必要な彫刻機材、彫刻道具、体験用への安全装備、石壁の維持費用。アーティストや彫刻師、石工職人、渓谷の案内ガイドやスタッフ等の人件費。ウェブサイトの運営・広告費用、パンフレット等の制作費用。環境への配慮とゴミ処理の費用。渓谷への営業許認可、土地利用許可、体験用への保険費用などがかかってくる。

告知手法としては、自身のウェブサイトを構築し、事業の詳細、彫刻体験、オンラインストアの紹介をする。SNSでは、Instagram、Facebook、Tiktok、X(旧Twitter)などのプラットフォームを活用し、視覚的なコンテンツの発信をする。また、九州のインフルエンサーと提携し、SNSでの情報発信を促す。地域のホテルや旅行代理店と提携し、観光客や訪日外国人への宣伝を行う。地域のアートフェスティバルや都市の観光イベントに出展し、知名度を高める。

5. 事業化後の目標、継続可能性や将来のイメージなどについて

目標として、日本の石彫文化を保存し、新たなアート愛好者や観光客に紹介することによる文化保存の促進。地元や石工の経済と雇用を支え、地域の観光業と石工文化の促進。

継続可能性として、渓谷の自然環境を保護し、石像制作において環境への負荷を最小限に抑え、環境保護に務める。地元住民と協力し、地域経済への貢献を維持し、地元の若者やアーティストに機会の提供。彫刻技術の教育プログラムを展開し、次世代の石彫アーティストを育成。設備の改善と観光客からの向上を図り、顧客からの評判を高める。

将来のイメージとして、渓谷での石像制作が国内外で知られ、観光客やアート愛好者のインバウンドを利用した、多種多様な顧客獲得を目指す。また、定期的なアートフェスティバルや彫刻イベントを開催し、アートコミュニティと協力して石工芸術の祭典を創出する。渓谷での石像制作を持続可能な観光のモデル事業として位置づけ、他の地域での展開を考慮する。

<記入上の注意>

- ・各項目の文字数の制限はありませんが、計画書全体で最大A4用紙片面3枚以内に収めてください。
- ・各項目の詳細説明のため概要図・グラフ・画像などの挿入や添付も可と致します。
なお、解像度に画像が荒くなる場合がありますので、使用するフォントや写真等には留意下さい。